

● **意思疎通支援事業**／聴覚障害者などが手話通訳・要約筆記を必要とする際に、手話通訳者・要約筆記者を派遣する事業です。派遣にはあらかじめ申請が必要です。

● **手話奉仕員養成講座**／手話奉仕員とは、手話で日常会話ができ、手話を使ってボランティア活動をを行うことができる人のことです。手話奉仕員を養成するための講座を有田圏域で実施しています。手話奉仕員になるためには、この講座を修了する必要があります。

こんなときに助けてください

聴覚障害は外見からは分かりづらいため、困っていることに気づかれないことがあります。聴覚障害者は次のようなことに困っていることがあるので、気づいたら手助けしてください。

● **マスクをしていると理解しづらい**／聴覚障害者にとって、口の動きや表情は話の内容を理解するために必要なツールです。そのため、マスクをつけた状態で話しかけると内容を理解しづらくなります。

・マスクを外せない状況であれば、筆談やスマホに文字を表示させるなどして内容を伝えましょう。マスクを外せる状況であれば、マスクを外し、ゆっくり口の動きを見せて内容を伝えましょう。

● **周囲の状況が分からない**／自動車のクラクションや踏切の警笛など、身に迫る危険に音で気づくことができません。また、視界の外から呼びかけられても反応できません。

・背後から急に触れられると驚いてしまうので、緊急時以外は視界に入る場所から話しかけて内容を伝えましょう。

● **複数の会話が難しい**／複数人が同時に話すと、相手全員の口の動きや表情が見れず、内容を理解することが難しくなります。

・1人ずつ順番にゆっくり話すようにしましょう。聴覚障害者が補聴器を付けている場合は、大きな声ではっきり話しましょう。

ご存じですか？聴覚障害に関するマーク

● **耳マーク**／聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。このマークを付けている人を見かけたら、手話や筆談で話すなどのサポートをしてください。

● **聴覚障害者標識**／自動車などの運転者に聴覚障害があることを示すマークです。このマークを貼った自動車などを見かけたら、割り込みや幅寄せなどを行わないなど運転に配慮してください。



出張版！

手話にチャレンジ！ 日常生活で使える手話

こんにちは



①右手の人さし指と中指を立て、額に当てる。



②両手の人差し指が向かい合うように立て軽く曲げる。

ありがとう



①左手の甲に右手を垂直にのせて上にあげる。



②頭はお辞儀するように軽く下げる。

※手話は、使う人やコミュニケーションをとる相手などによって異なるため、ここで紹介している手話と違う表現を使うことがあります。